

函館恵山中 ヒグマ防災教室

正しく怖がり対応して

地域で出没相次ぎ初開催

【函館発】函館市立恵山中学校（黒田諭校長）は7月21日、同校でヒグマに対する防災教室を実施した。校区内でヒグマが頻出していることから初めて開催。渡島総合振興局から講師を

招き、全校生徒および教職員が適切な対策や対応を学んだ。

恵山地区はヒグマの出没が相次いでおり、昨年には恵山登山道に一部制限がかけられた。生徒の生活圏において、ことし4月以降も痕跡が複数回見られたことから、同校は今回ヒグマの生態や適切な対策を学ぶ機会を設けた。

渡島総合振興局環境生活課の担当者が講師を務め、全校生徒や教職員らに向けて講話した。

ヒグマの生態に関して「8、9月は山の食物が少なくなり、農作物の被害が



ヒグマの毛皮に触れる生徒たち

ら「山の安全はヒグマの配慮で成り立っている。人はヒグマに気付いてもらう配慮が必要」とし、具体的な対策を説いた。

増える」など、時期に応じて説明。聴覚や嗅覚が鋭く、運動能力が高いことから、

するよう強調。「ヒグマによる死亡事故は1人の時に発生する」と、出合った時の適切な対応を説き「むやみに怖がると余計なリスクを生む。正しく怖がることが大切」と呼びかけた。

井上朔玖さん（3年）は「なぜ夏にヒグマが市街地に出てくるか、理由まで知ることができて納得した。自分が住む地域はヒグマの目撃情報が多いので、気を付けて過ごしたい」と話した。